

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 道路維持課長 山崎 泰助 電話番号 0852-22-5187

事務事業の名称	安全な歩行・走行のための道路整備事業（第二種＝道路付属物設置）	
目的	(1) 対象	道路利用者
	(2) 意図	より安全で快適に道路を歩行・走行できるようにする。
事業概要	道路利用者がより安全で快適に道路を通行できるよう、道路付属物（防護柵、道路標識、道路照明など）の整備を行う。	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度					単位	
			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度		
歩道整備率	歩道整備率	整備延長（累計）／全体必要延長	目標値	82.00	83.00	85.00	86.00	%	
			実績値	80.00	81.00	83.00	84.00		
			達成率	98.80	100.00	98.90			
指標名	式・定義		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			目標値		0.00	0.00			
			実績値	0.00	0.00	0.00			
			達成率	0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	351,103	198,141
うち一般財源(千円)	110,223	9,465

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成19年に策定した「車両防護柵整備方針」にそって、防護柵（ガードレール）の整備を計画的に行っている。この方針は、整備箇所を危険性から3ランクに分類し、危険性の高い箇所（ランク1）から優先的に整備するものである。

平成26年度防護柵（ガードレール）整備状況

	計画延長(km)	整備済延長(km)	進捗率(%)	H26整備延長(km)
全体	373.3	107.9	29%	5.4
ランク1	7.5	6.0	80%	0.1
ランク2	115.8	59.3	51%	1.4
ランク3	250.0	42.6	17%	3.9

また、公安委員会と連携し、事故危険箇所の対策（4ヶ所/5ヶ所）などを行った。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

県内の交通事故は発生件数、死傷者とも減少傾向にあり、道路付属物の整備による一定の効果が認められる。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

防護柵（ガードレール）は、危険性の箇所（ランク1）を優先的に整備しているが、その進捗率は80%であり、整備完了となっていない。（ランク1の未整備延長L=1.5km）

②困っている状況が発生している「原因」

防護柵設置箇所の道路構造上の問題（道路幅員が狭いことなど）で、防護柵が設置不可能な箇所がある。

③原因を解消するための「課題」

道路改良事業による防護柵整備等、他事業との連携が必要

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

防護柵設置不可能箇所は、道路改良事業等の整備状況と調整を行いつつ、改良完成までは他の手法（危険箇所の注意喚起など）により道路通行の安全を図る。それ以外の箇所は、引き続き、着実に整備を進める。また、今後も、公安委員会と連携して交通安全対策の推進（道路付属物の整備）に取り組む。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）